

バスエピアを浴槽の湯に入れると水素が発生し、水素の湯ができます。皮膚の弱い方や虚弱、病気の方、またはお年を召した方に奇跡をおこすほど優れたお湯になります。

日本は温泉が多い国です。その温泉の中でも難病を治すといわれる奇跡の温泉があります。その温泉にはガンなど不治の病でお悩みの方が湯治に行き、奇跡的に完治された方も多くいらっしゃいます。特に有名な秋田県の玉川温泉は3ヶ月の予約が必要なほど。水素の湯の研究者である伊藤実喜先生が、その奇跡を起こすといわれる温泉に着目、調査し、なぜ難病が治るのかを検証したのです。結果それらの湯は全て水素の湯であることが判明しました。特に玉川温泉の水素溶存量は70ppbと驚くべき数値でした。他の奇跡の温泉も同様、相当量の水素が溶存していたのです。バスエピアは、ご家庭で毎日この水素の湯に入浴していただくために研究、完成された製品です。ご家族全員で素晴らしい水素の湯をご体験ください。

水素の量だった 命を救う秘密は

バスエピアは
すばらしい力を持つ
天然鉱石から
できています

マグネシウム

マグネシウムは人体に必要なミネラルのひとつ。マグネシウムは水と反応すると、まず水酸化マグネシウムと2コの原子水素を作り、この原子水素はすぐに、分子水素(水素ガス)を発生させます。

抗菌砂

抗菌機能を有する金属を組み合わせたに担持させた新しいタイプの抗菌物質です。細菌、カビなど広範囲に強い抗菌効果を発揮し、塩素系や有機殺菌剤と違い、安全性も確認されています。

トルマリン

トルマリンは、「電気石」と言われ、厚生省から食品添加物として認可されています。マイナスの電気を発生させ、お湯の質をイオン化し、アトピーなど炎症した皮膚に効果を発揮します。

麦飯石

麦飯石は、吸着作用やイオン交換作用が強く、水に作用させると水道水の中の有害物質である水銀やカドミウム、大腸菌等の汚染物質や細菌を分解し、水を浄化する働きをします。

寒水石

寒水石は風化したサンゴが化石質になったもので、地底数千メートルから掘り出される貴重な鉱石です。寒水石は水質をPH9.4までアルカリ性に引きあげ良質のアルカリ湯をつくります。アルカリ湯は皮膚をしっとりさせ、赤ちゃんの皮膚のように蘇らせます。

バスエピアの水素溶存量は
180ppbを実現!



水素の湯 発生源 バスエピア

なぜ水素が良いのか?

水素の湯バスエピアから発生する水素は、呼吸によって鼻や口から体内へ入ると「活性水素」に分解され、万病や老化の原因である「活性酸素」と結び付き水になって消去し体外に排出します。

活性酸素とは?

私たちが口から摂った食物を肺から取った酸素で燃やすという生命代謝を営むことによって、一種の燃えカスとして発生するのが「活性酸素」です。この活性酸素は人の遺伝子を酸化させる作用が活発なために遺伝子にキズをつけ、老化や発ガン性を早め病気の要因をつくります。最も多く発生するのは、腸内の微生物のバランスが崩れ腸内異常発酵が起こった時。これにより発ガン性のある有害物質が発生します。

活性水素とは?

水素とは通常分子水素、つまりH₂のことを意味しています。分子水素は2コの原子水素から作られていますが、この単独の原子水素を「活性水素」とも言います。私たちの体には水素分解酵素が備わっていて、水素が体内に入ると分子水素H₂を2コの原子水素H、すなわち活性水素に分解します。これは反応性が高く強力な還元作用(酸化された物質を元に戻す作用)を持っているので、同じく反応性が高く強力な酸化作用を持つ活性酸素と結び付き、水になることで活性酸素の毒性を無くしてしまいます。

ご使用方法

浴槽内にバスエピアを置き、浴槽にお湯をはります。下図の様に腰掛けたり、足の下に置いて使用します。

入浴中の呼吸は短呼吸と深呼吸を意図的に繰り返して発生した水素を吸収します。より効果的です。

入浴方法①



入浴方法②



入浴方法③

